

2023 年度 第 2 回幹事会 議事録

【日時】 2024 年 1 月 22 日(月)

【場所】 Alice aqua garden 田町

【参加者】 25 名(敬称略、文中も)

牛場(1)、小谷(2)、三矢(4)、長谷川(6)、池田(7)、真壁(8)、松村(8)、伊藤(9)、
恒川(10)、岩田(11)、品田(13)、竹内(16)、青木(17)、神島(17)、吉岡(19)、
奥本(21)、腰高(23)、杉浦(26)、竹ノ下(33)、荒木(33)、攝津(35)、松村(38)、
原(44)、松尾(45)、山田(52)

【報告事項】

0.恒川会長ご挨拶

- ・ 本日は銀杯の議論も含め、大事な議論という認識で参加。是非活発な意見を。

1.現役報告(青木)

- ・ 秋の連盟戦は優勝。楽籠・立教・早稲田・明治の4チームで決勝リーグ。
- ・ スタメンは3年生4名。7年ぶりに塾生女子主務が入部決定。
- ・ OB訪問は25名の方に依頼。海外・地方のOBもオンラインで対応してくれている。

2.SOの件(真壁)

- ・ 11/24に駒沢屋内球技場でイベント実施。多くの楽籠OBの協力あり、感謝。
- ・ 資金不足。是非企業の協力を。

3.ANWの件(神島)

- ・ 斎藤(10)体調不良で欠席のため、代読。
- ・ 東海、関西、九州にて実施。

【審議事項】

1.2024年3月卒業生(63期)への、卒業記念品について

(杉浦)アジェンダの裏面記載の内容を説明。

- ・ 「卒業記念品」でなく、OB会の「入会記念品」とし、OB会に温かく迎え入れたい。
- ・ 諸先輩方より、銀杯への強いこだわりを踏まえ、モノは銀杯とし、楽籠OB会所属の証とする。カワセンの教え通り「本物」を渡すため、今まで通り三越経由で手配する。
- ・ 価格高騰はあるものの、OB会の剰余は十分にあることから、対応できる。
- ・ 1期よりご意見あり。その他代からは8件事務局案に同意有。その他反対意見なし。

(8 松村)三越の OB 鈴木さんが退職したが、今後も発注問題ないか？

→現役社員の方に引き継いでおり、問題なし。

(牛場)1 期としての意見。三越で銀杯を継続発注することになり、嬉しく思う。今まで「卒業記念品」として銀杯を渡してきた認識。「入会記念品」とすることは違和感を覚えるが、OB 会の総意であるなら、異議なし。是非「謂れ」はつけて渡してほしい。単なる銀杯でないことは、理解してほしい。

(三矢)私が主務として、最初の銀杯を手配した。1 期の卒業祝いとして、カワセンの指示より手配。カワセンは「卒業を祝う俺の気持ちとして渡したい。卒業何年後かに同期で集まった時に銀杯で乾杯してほしい」という思いあり。そんなに重たくとらえず、「みんなで集まってほしい」という思いが発端。

(8 松村)できれば、色々な場で銀杯の話をしていきたい。

(岩田)正式決定は 3 月の総会だと思うが、どのように発注を進めるか？

(杉浦)手配の都合上、三越への発注は進めたい。

(恒川)私も町田さん・牛場さん、事務局とも議論をした。私の思いは、銀杯の謂れは変わらずに付けること、総会でその場で渡し、卒業祝いと同時に OB 会に迎え入れること。都度、心意気を伝えることをしていきたい。OB 会に色々な人が参加できるように広げていきたい。楽籠の伝統を守っていきたい。3 月の総会の了解を得て、継続していきたい。

(杉浦)幹事会としては、「入会記念品」として、「銀杯」を「三越」で手配することに決定。「謂れ」の内容見直しは今後ご意見ほしい。

(総意)異議なし。

2.2025 年に迎える「楽籠 70 周年記念行事(仮)」について

(杉浦)今回運営を担っていただく、30 期代の方々(攝津さん・松村さん・竹之下さん・荒木さん)にも参加してもらい、本日をキックオフとしたい。

・30 期代は会社でも要職・重責を担っており、集まるのも大変。活動のための予算も取ってほしい。

(総意)30 期代を中心に運営することで、異議なし。

3.2024 年 3 月 23 日(土)予定 OB 総会の件

(杉浦)日程・場所について確認

(総意)異議なし。

4.2024 年度役員人事

(腰高)2024 年度も 2023 年度と同様の体制としたい。54 期徳永がパリに留学中だが、残留。若手メンバーも今後増やしていきたい。

(総意)異議なし。

(恒川)名古屋から会長職を担うのは大変。在京の方に担ってもらった方が、コミュニケーションもとれると思う。2024年度の人事は受け入れるが、意見として伝えておきたい。

5.2023年度決算案

(荒木)別添の予算案を説明。

(腰高)物価上昇の影響は大きく、名簿の印刷代などは今後も上昇見込。

(荒木)事務局からの提案は以下の4点。

①エリアネットワークを40万円→60万円へ増額。今年度は半期で30万円だった。活性化につなげていただきたい。

②幹事会運営費0→30万円:幹事会参加費を一部免除し、参加者を増やしたい。

③OB総会補助:参加者は120名程度を見込。在京者2,000円、地方参加者1,000円として、600,800円の見込。

※昨年はコロナ明けで実施できなかった3年分で80万円計上(全員無料)

④70周年行事企画・準備費:70万円。

(杉浦)約80万円の支出超過にはなるが、70周年イベント費も含まれており、それを除くと10万円。幹事会費などは、代表者が時間とお金を払って出席している。一部を負担しても良いと思う。

(松村)お金が余っているとはいうが、無駄なお金を使わないようにしっかり考えてほしい。エースが書いた冊子の印刷も、今後検討してほしい。

(三矢)エースの冊子を配っても、中身を理解してもらえないのではないか。これから先の話が大事。松村さんのは良い意見ではあるが、よく検討が必要だと思う。

(杉浦)実施するなら次年度予算。70周年企画の際の1つの検討項目とする。

(竹内)70周年行事企画・準備費について70万円とすることは良いと思うが、しっかりと使い方を考え、代々イベントも続けていってほしい。

(吉岡)70周年だから70万円というのは説明がつかないのではないか?具体的に何にどうかかるかがわからないと、同期にも説明ができない。ざっくりでも60周年の実績などを示してほしい。

(腰高)翌年度繰越を前提としているし、何をするかこれからの検討なのだから、使い方もこれから。例えば代々木体育館の予約は1年前からなので、それを抑えることが必要といった、何かやるための予算をとっておきたいということ。60周年のときは当該年度に入ってから、特に根拠もなく予算200万円を組んだ。

(38松村)30期代が幹事としてやっていくには、予算を計上してもらえるのはありがたい、取り組みやすい。運営する30期代の意見として。

(真壁)予算をとっておく分には良いと思う。

(総意)事務局の予算案に異議なし。

【他】

70周年企画に向けて

・松村(38)、攝津(35)、竹ノ下(33)、荒木(33)より抱負